

2016年2月10日

**2015年12月期
決算説明資料**

**ライオン株式会社
代表取締役社長 執行役員
濱 逸夫**

本日の内容

- 2015年度 業績
- V-2計画の進捗 今期取り組み方針
- 2016年度 業績予想



2015年度 業績

連結損益計算書

○過去最高益を更新(営業利益、経常利益) (2期連続) (3期連続)

(単位：億円)	2015年	2014年	前期増減		対公表増減	
			額	率(%)	年初公表	11/30修正
売上高	3,786.5	3,673.9	112.6	3.1	+36.5 (1.0%)	+36.5 (1.0%)
営業利益 対売上比(%)	163.7 4.3	124.0 3.4	39.6	32.0	+28.7 (21.3%)	+13.7 (9.2%)
経常利益 対売上比(%)	180.9 4.8	140.5 3.8	40.4	28.7	+30.9 (20.7%)	+15.9 (9.7%)
当期純利益 対売上比(%)	106.8 2.8	73.6 2.0	33.1	44.9	+31.8 (42.4%)	+16.8 (18.7%)
1株当たり 当期純利益(円)	39.35	27.47	11.88	43.2		

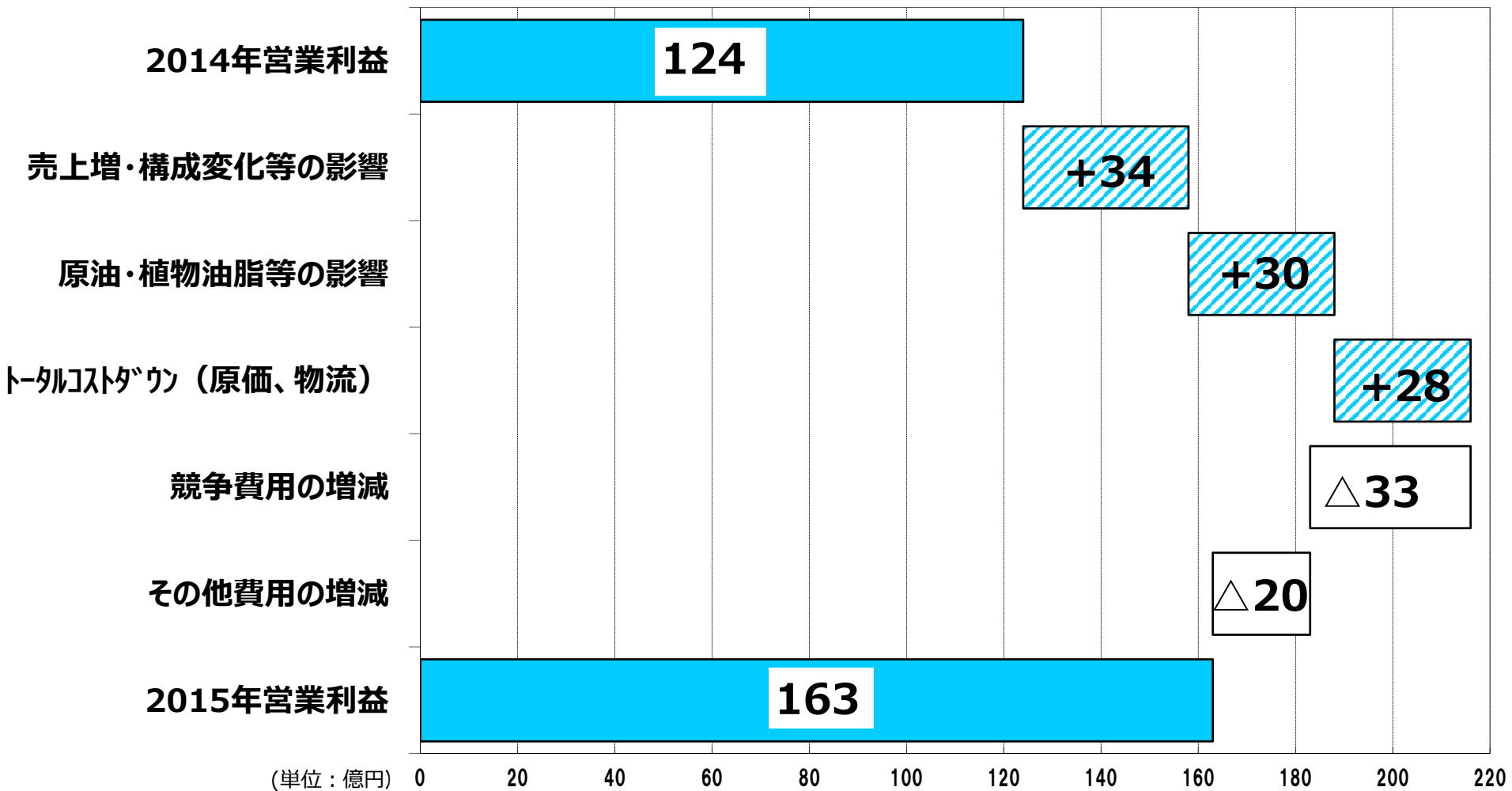
セグメント別業績概要

○一般用消費財は収益性向上、海外は増収増益

(単位：億円)	売上高				セグメント利益（営業利益）			
	2015年	2014年	前期増減		2015年	2014年	前期増減	
			額	率(%)			額	率(%)
一般用消費財	2,734.8	2,744.2	△9.4	△0.3	101.0	85.1	15.9	18.7
産業用品	561.0	597.9	△36.8	△6.2	16.1	17.5	△1.4	△8.4
海外	1,020.7	862.0	158.7	18.4	29.8	11.4	18.3	159.9
その他	291.6	286.8	4.8	1.7	9.5	5.9	3.5	60.0
小計	4,608.3	4,491.0	117.2	2.6	156.6	120.2	36.3	30.3
調整額	△821.7	△817.0	△4.6	-	7.1	3.8	3.3	85.9
連結計	3,786.5	3,673.9	112.6	3.1	163.7	124.0	39.6	32.0

営業利益増減要因

「収益性の向上」を確実に推進



一般用消費財事業の概況

オーラルケア分野：高付加価値品の構成アップ

○高価格帯商品の伸長による市場成長の牽引

500円以上ハミガキ 金額前期比
市場109% **当社123%**



250円以上ハブラシ 金額前期比
市場112% **当社117%**

(ライオン調べ)



一般用消費財事業の概況

薬品分野：高付加価値品・インバウンドの伸長

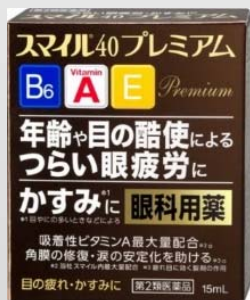
○高付加価値品の拡大 による単価アップ

(売上高伸長率)

「バファリンプレミアム」前期比110%



「スマイル40プレミアム」前期比131%



○インバウンド需要の 着実な取り込み

「ペアアクネクリームW」前期比235%



「休足時間」前期比160%



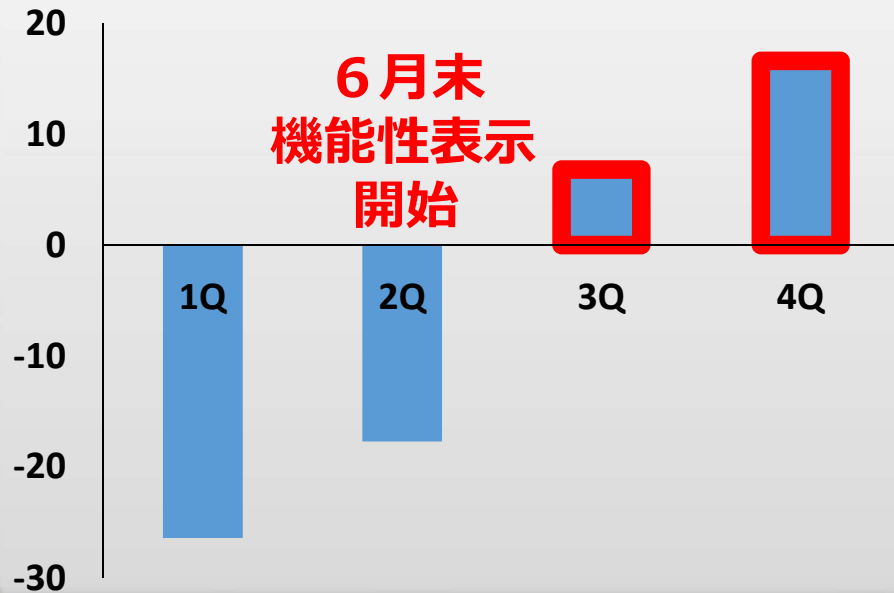
一般用消費財事業の概況

通販事業：機能性表示・アイテム拡大

○「ラクトフェリン」 機能性表示で売上高回復

「ラクトフェリン」前年同期比売上増減率

(%)



○品揃え拡充による 新規顧客開拓

ロコモケア・サプリメント
「歩むチカラ」新発売



グローバルニッチNo.1を目指した 新会社スタート



自動車



電気電子

生活産業



公共インフラ



- ・ロイヤルユーザーの開拓
- ・保有技術の融合
- ・海外展開の加速

パーソナルケア分野の拡大

○パーソナルケア分野商品の売上成長率

タイ「KODOMO」 111%

韓国「キレイキレイ」144%

中国「システム」 111%
(現地通貨ベース)



パーソナルケア分野売上成長率
122%

パーソナルケア分野構成比
29%→31%



海外事業の概況

主要国にて利益ある成長の実現

タイ
オーラルケア好調

オーラルケア分野 成長率

前期比 **116%**

韓国
ビューティケア大幅増

ビューティケア分野成長率

前期比 **144%**

中国
チャンネル拡大

ECマース 事業成長率

前期比 **182%**



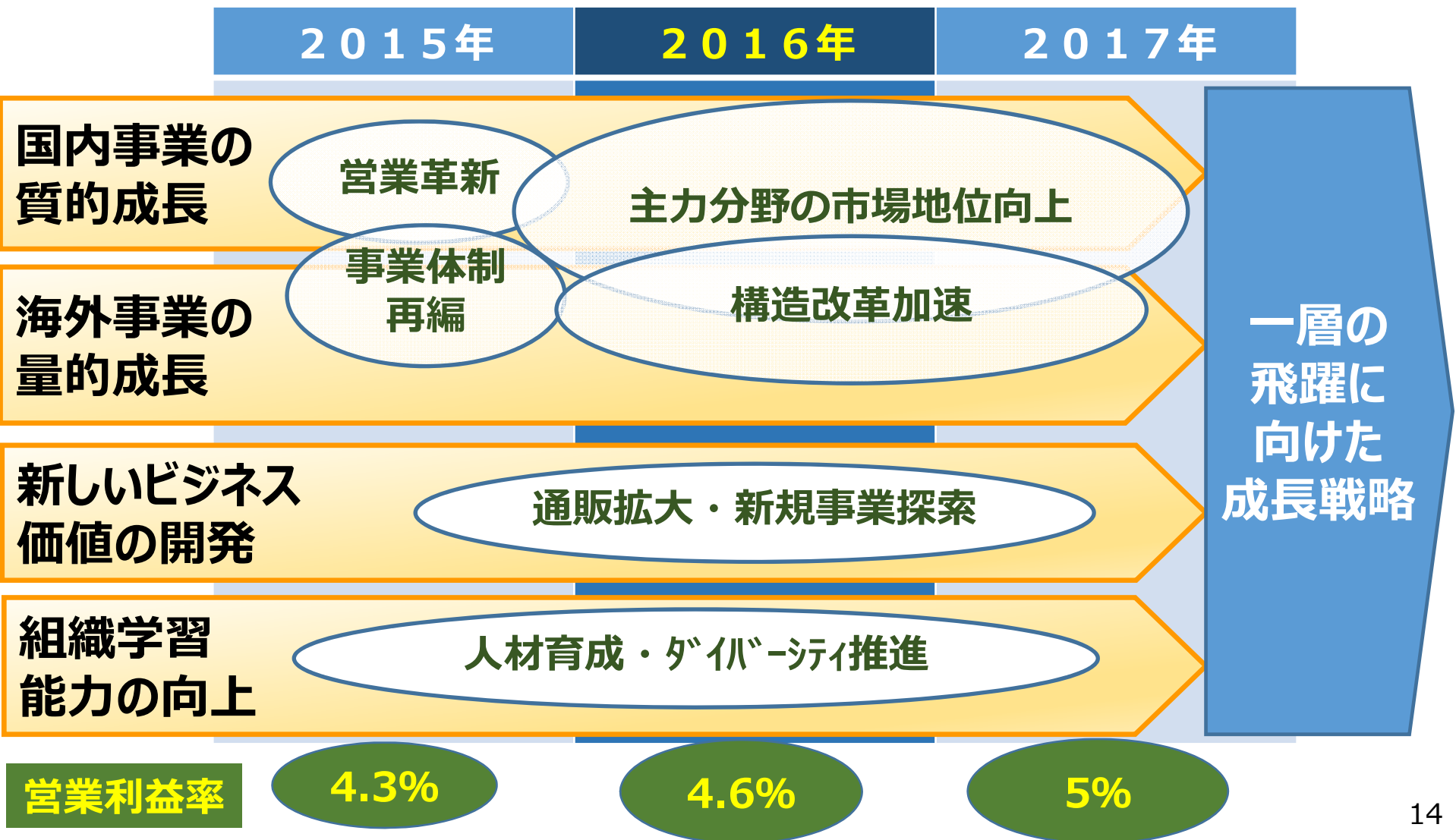
V - 2 計画の進捗 今期取り組み方針

V-2計画の工程表と2016年の位置づけ

今日を愛する。

LION

2016年は、V-2計画の達成を確実にする年



戦略 1. 国内事業の質的成長

さらなる収益基盤の確立

進捗

- ・高付加価値品の拡大
- ・事業効率の向上

今期方針

主力市場でのシェア拡大に向けて

- ・オーラルケアの磐石な市場地位獲得
- ・超コンパクト液体洗剤のブランド力強化



戦略2. 海外事業の量的成長

利益ある成長の継続

進捗

- ・パーソナルケア分野へのシフト
- ・サザンライオン連結子会社化
- ・台湾新会社設立

今期方針

市場ポジションの向上に向けて

- ・北東アジア：ブランド投資の強化
- ・東南アジア：パーソナルケア分野の拡大



戦略3. 新しいビジネス価値の開発

今日を愛する。
LION

通販事業：スピーディな成長の実現

進捗

- ・機能性表示による「ラクトフェリン」強化
- ・「ラクトフェリン」内製化
- ・ウェルネス・ダイレクト事業本部の新設

今期方針

事業規模の拡大に向けて

- ・品揃えの強化
- ・事業効率の向上



戦略4. 組織学習能力の向上

次なる成長を加速させる組織力向上

進捗

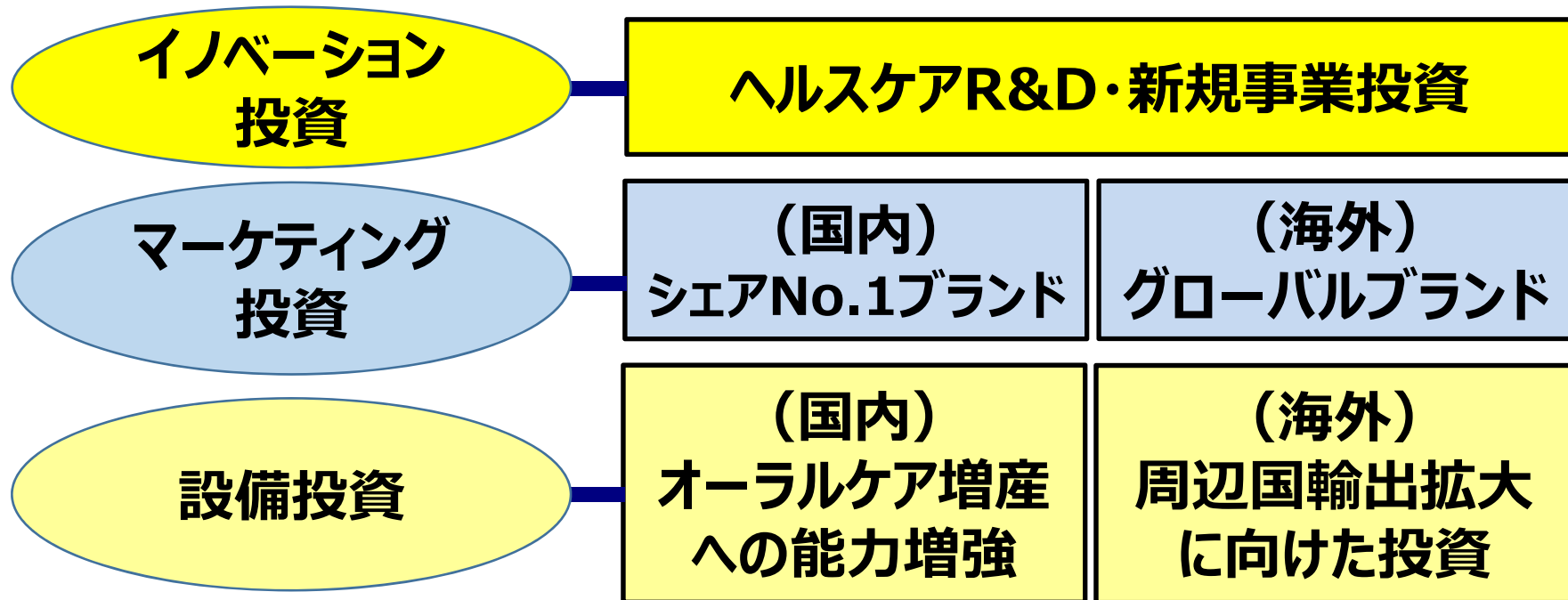
- ・ブランド育成型営業への転換
- ・化学品事業体制の整備

今期
方針

- 戦略の実行力(現場力)を徹底強化**
- ・人材の育成と活用への取り組み
(グローバル人材、ダイバーシティの推進)



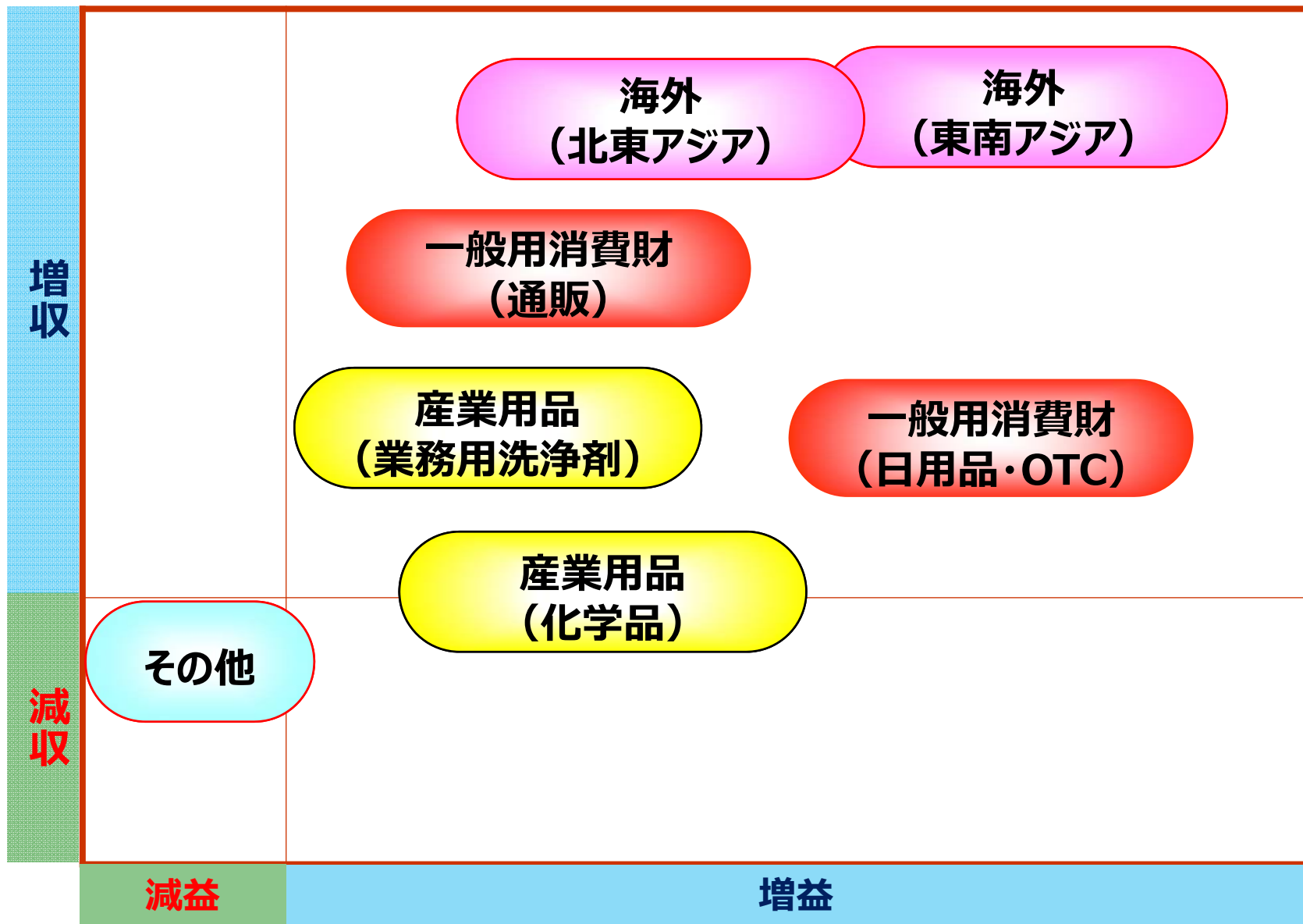
2016年 投資の考え方



グループの経営体力を強化

さらなる成長の加速

2016年 事業計画イメージ





2016年度 業績予想

2016年連結業績予想 売上高・利益

○売上高、利益とも過去最高を目指す

(単位：億円)	2016年	2015年	前期増減		2016年 第2四半期	2015年 第2四半期	前年同期増減	
			額	率(%)			額	率(%)
売上高	3,900.0	3,786.5	113.4	3.0	1,850.0	1,802.8	47.1	2.6
営業利益	180.0	163.7	16.2	9.9	65.0	56.9	8.0	14.1
売上比(%)	4.6	4.3			3.5	3.2		
経常利益	190.0	180.9	9.0	5.0	70.0	66.4	3.5	5.3
売上比(%)	4.9	4.8			3.8	3.7		
当期純利益	110.0	106.8	3.1	3.0	40.0	38.9	1.0	2.6
売上比(%)	2.8	2.8			2.2	2.2		
1株当たり 当期純利益(円)	38.37	39.35	△0.9	△2.5	13.95	14.53	△0.5	△4.0

2016年連結業績予想 セグメント別売上高

【外部売上高】

(単位：億円)	2016年	2015年	前期増減		2016年 1-6月	2015年 1-6月	前年同期増減	
			額	率 (%)			額	率 (%)
一般用消費財	2,530.0	2,479.7	50.2	2.0	1,180.0	1,165.4	14.5	1.2
産業用品	310.0	308.0	1.9	0.6	150.0	148.9	1.0	0.7
海外	1,020.0	939.0	80.9	8.6	500.0	455.2	44.7	9.8
その他	40.0	59.7	△19.7	△33.0	20.0	33.1	△13.1	△39.7
合計	3,900.0	3,786.5	113.4	3.0	1,850.0	1,802.8	47.1	2.6

株主還元の考え方

収益力の向上→永続的、安定的な利益還元

今期配当予想

◇ **2016年度は、1円増配、年間11円
(中間5円、期末6円)**

V-2計画達成と更なる飛躍に向けて

今日を愛する。

LION

2017年
V-2計画
目標営業利益率
5%達成

Vision2020

くらしとこころの
価値を提供する
「アジアのリーディ
ングカンパニー」へ

2016年
V-2計画の達成を
確実にする年
過去最高益更新

V-3計画
事業成長の
更なる加速

V-2計画
構造改革による
収益力向上・
将来への布石

V-1計画
収益体制の
基盤整備

2012 2013 2014

2015 2016 2017

2018 2019 2020 年

今日を愛する。
LION

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報にもとづき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることを御承知おき下さい。

※金額は表示単位未満切捨てで表示しております。

參考資料

連結損益計算書

(単位：億円)

	2015年	2014年	前期増減	
			金額	率 (%)
売上高	3,786.5	3,673.9	112.6	3.1
売上原価	1,624.3	1,606.7	17.5	1.1
売上総利益	2,162.2	2,067.1	95.0	4.6
販売費及び一般管理費	1,998.4	1,943.1	55.3	2.8
営業利益	163.7	124.0	39.6	32.0
営業外収益	24.5	27.0	△2.4	△9.1
営業外費用	7.2	10.4	△3.1	△30.3
経常利益	180.9	140.5	40.4	28.7
特別利益	79.2	7.3	71.9	980.6
特別損失	66.3	17.0	49.2	288.8
税金等調整前当期純利益	193.8	130.8	63.0	48.2
法人税、住民税及び事業税	58.9	44.9	14.0	31.2
法人税等調整額	14.8	6.5	8.3	127.2
少数株主利益	13.2	5.6	7.5	133.4
当期純利益	106.8	73.6	33.1	44.9

販売費及び一般管理費

(単位：億円)

	2015年		2014年		前期増減	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	率(%)
販売費及び一般管理費	1,998.4	52.8	1,943.1	52.9	55.3	2.8
販売手数料	81.9	2.2	82.9	2.3	△0.9	△1.1
販売促進費	873.8	23.1	864.3	23.5	9.4	1.1
広告宣伝費	262.2	6.9	245.1	6.7	17.0	7.0
運送費及び保管費	170.1	4.5	167.2	4.6	2.8	1.7
給料及び手当	147.2	3.9	142.4	3.9	4.7	3.4
研究開発費	98.0	2.6	94.3	2.6	3.6	3.9
その他経費	365.0	9.6	346.6	9.4	18.3	5.3

特別利益・特別損失

(単位：億円)	2015年		2014年	
特別利益	固定資産処分益	6.2	固定資産処分益	1.2
	退職給付信託設定益	67.3	退職給付信託設定益	-
	投資有価証券売却益	2.1	投資有価証券売却益	-
	段階取得に係る差益	-	段階取得に係る差益	4.7
	負ののれん発生益	-	負ののれん発生益	0.9
	その他	3.4	その他	0.3
	合計	79.2	合計	7.3
特別損失	固定資産処分損	18.9	固定資産処分損	7.9
	減損損失	44.7	減損損失	8.3
	投資有価証券評価損	0.1	投資有価証券評価損	0.7
	その他	2.4	その他	-
	合計	66.3	合計	17.0

連結貸借対照表(抜粋) I

(単位：億円)

	2015年	2014年	前期増減
流動資産	1,668.3	1,461.7	206.5
現金及び預金	185.8	180.0	5.7
受取手形及び売掛金	586.5	590.0	△3.5
有価証券	459.1	244.4	214.7
たな卸資産	375.5	393.6	△18.1
固定資産	1,156.0	1,371.7	△215.7
有形固定資産	750.6	792.7	△42.1
無形固定資産	59.2	91.0	△31.8
投資その他の資産	346.2	487.9	△141.7
資産合計	2,824.3	2,833.5	△9.1

連結貸借対照表(抜粋)Ⅱ

(単位：億円)

		2015年	2014年	増 減
流動負債		1,212.4	1,155.3	57.1
	支払手形及び買掛金	496.2	465.9	30.2
	短期借入金	97.7	126.0	△28.3
	1年内返済予定の長期借入金	2.2	1.1	1.0
	未払金及び未払費用	475.2	451.2	23.9
固定負債		184.5	403.8	△219.2
	新株予約権付社債	24.2	144.3	△120.0
	長期借入金	20.8	24.4	△3.6
	退職給付に係る負債	87.5	185.2	△97.7
純資産合計		1,427.3	1,274.3	152.9
	利益剰余金	694.1	660.9	33.1
	自己株式	△68.0	△168.2	100.2
	その他の包括利益累計額	33.7	54.3	△20.5
負債純資産合計		2,824.3	2,833.5	△9.1

連結キャッシュ・フロー

(単位：億円)

	2015年	2014年	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	355.3	117.3	238.0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△69.7	△168.3	98.6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△50.6	△65.2	14.5
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3.7	8.2	△12.0
現金及び現金同等物の増減額	231.2	△107.9	339.1
現金及び現金同等物の期首残高	381.5	489.4	△107.9
現金及び現金同等物の期末残高	612.7	381.5	231.2

セグメント別業績実績

(単位：億円)

	売上高			セグメント利益(営業利益)		
	2015年	前期増減		2015年	前期増減	
		金額	率(%)		金額	率(%)
一般用消費財	2,734.8	△9.4	△0.3	101.0	15.9	18.7
	2,479.7	△13.3	△0.5			
産業用品	561.0	△36.8	△6.2	16.1	△1.4	△8.4
	308.0	△6.4	△2.1			
海外	1,020.7	158.7	18.4	29.8	18.3	159.9
	939.0	121.2	14.8			
その他	291.6	4.8	1.7	9.5	3.5	60.0
	59.7	11.1	23.1			
小計	4,608.3	117.2	2.6	156.6	36.3	30.3
連結計	3,786.5	112.6	3.1	163.7	39.6	32.0

◇売上高：上段は総売上高、下段は外部売上高。

営業利益：小計は連結相殺前セグメント利益、連結計は連結セグメント利益

海外事業 地域別売上高実績

【総売上高】

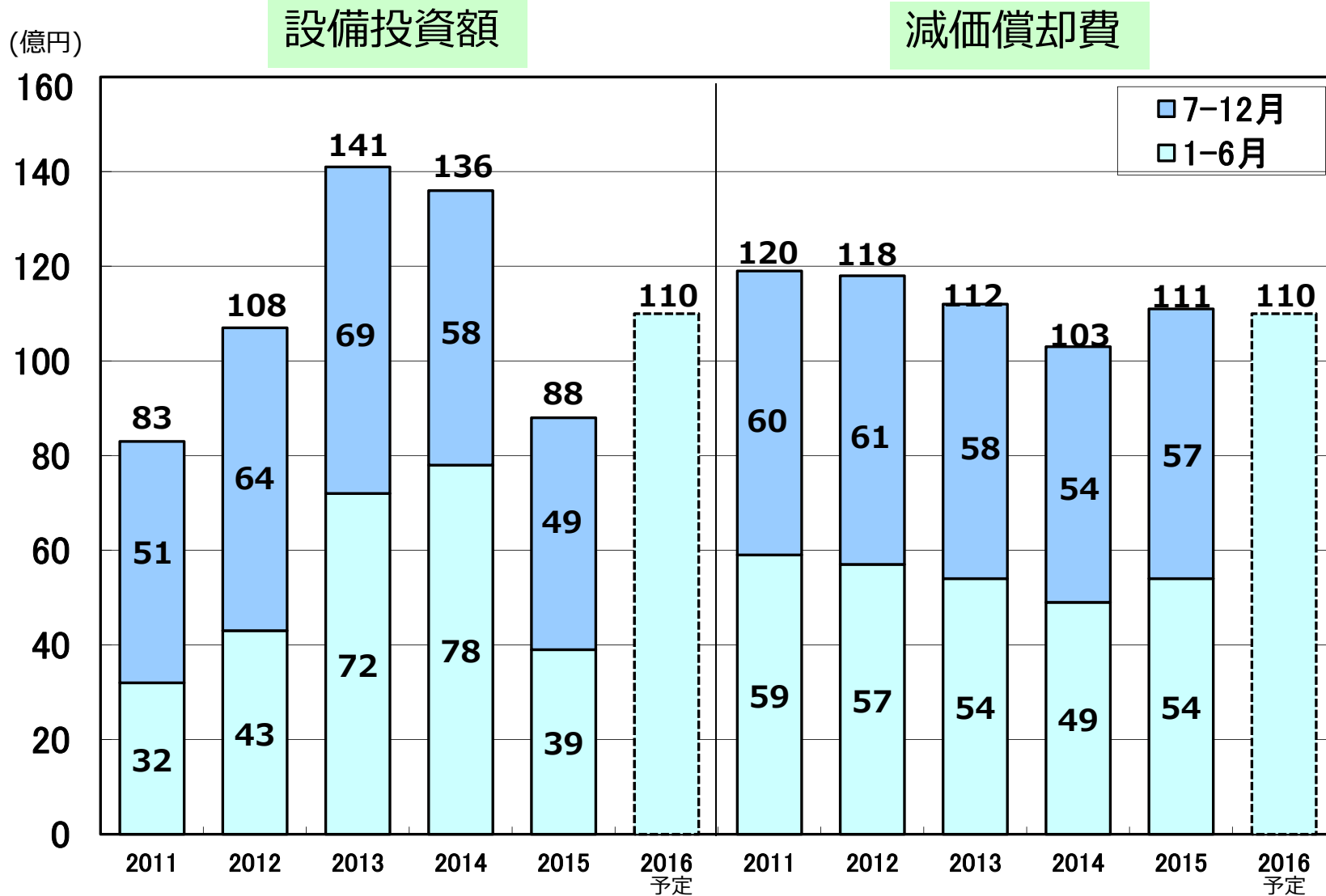
(単位：億円)

	2015年	2014年	増減額	増減率 (%)
東南アジア	676.1	569.5	106.6	18.7
北東アジア	344.6	292.5	52.1	17.8
合 計	1,020.7	862.0	158.7	18.4

東南アジア：タイ、マレーシア、シンガポール、フィリピン、インドネシア(一方社)

北東アジア：韓国、中国、台湾、香港

設備投資額・減価償却費



※設備投資額、減価償却費ともに無形固定資産分も含む。

国内家庭品・OTC医薬品市場の推移

家庭品 当社参入主要39市場計 前期比 (%)

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
販売金額	102	101	101	102	102	103
販売個数	103	101	102	102	100	100
平均単価	99	99	99	100	102	102

(株)インテージ S R I データ (2010年以前は当社参入主要44市場、
2011~2012年は当社参入主要42市場、2013~2014年は当社参入主要40市場)

OTC医薬品 当社参入主要8市場計 前期比 (%)

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
販売金額	96	98	98	99	100	102
販売個数	98	98	99	99	98	101
平均単価	98	100	99	100	102	101

(株)インテージ SDI データ

2016年経営環境 原料・為替の前提

原料価格の前提

	ドバイ原油	国産ナフサ	粗パーム油
2016年想定	40\$/BBL	40,000円/KL	2,200RM/ton

為替の前提

	米ドル	タイバーツ	韓国ウォン
2016年想定	120.0円	3.3円	0.095円

国内市場環境

日用品市場：単価微増、数量横ばい、
金額微増の傾向

OTC医薬品市場：単価微増、数量微減
金額横ばいの傾向

海外市場環境

2016年実質GDP成長率予測（前年比）

ASEAN5： 4.9%

中国： 6.6%

ASEAN5(タイ、インドネシア、マレーシア、シンガポール、ベトナム)
(2015年12月時点の三菱総合研究所予測)